

クラス番号	926	担当教員名	部田かね代
テーマ	地域や NPO が抱える課題を自ら発見し、その解決方法を考え、実践する		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

本ゼミナールには、大きく2つの目的があります。1つは、半田市にあるNPO法人ひだまりをフィールドにして、学生自身が地域やNPOが抱える課題を見つけ、その課題の解決案を検討し、課題解決に向けて実践することです。2つめは、上記のプロセスの中で、情報収集の仕方や報告資料の作り方、発表の仕方といった大学生としての基本となる学びの技法を身につけることです。

授業計画：

前期

- (1) NPOバスツアーに参加し、さまざまなNPOを見て、NPOに対する理解を深めます。
- (2) NPO法人ひだまりに直接訪問し、見学をし、地域やNPOが抱える課題を把握します。
- (3) 現場で感じた課題を大学のクラスに持ち帰り、課題の論点を整理します。
- (4) 大学の図書館を活用して、上記の課題に関連した情報を収集します（情報収集の仕方を学ぶ）。
- (5) 現場で感じた課題（1次情報）と大学で調べた資料（2次資料）を総合して、自分たちが取り組む課題を具体化し、絞り込みます。
- (6) 課題を明確にしたら、解決案を自分たちで考え、その解決案について担当教員等にコメントを受けます。こうしたコメントを参考にしながら、グループごとに具体的な行動目標を固めます。
- (7) 具体的な行動目標に向かって、活動を開始する。

後期

- (1) 前期に引き続き、具体的な行動目標に向け、活動を継続する。
- (2) 活動を終了し、自分たちの活動報告の作成に入ります（報告書類の書き方や発表の仕方を学ぶ）
- (3) NPO法人ひだまりの職員や利用者の前で報告会を行い、評価やコメントをいただく。

※NPO 法人ひだまりは、高齢者のデイサービスや喫茶事業、子ども習字や絵手紙などの各種教室、保育サービスなどを行っています。詳しくは、日本福祉大学サービ斯拉ーニングのホームページの「協力 NPO 一覧」の中の「ひだまり」をご参照ください。活動の紹介が出ております。

担当教員からのメッセージ



本ゼミナールは、大学での学びだけでなく、NPO 法人ひだまりとその地域にどのように貢献をするのかというところがコア（核）になっています。学外での活動があるため、学生の基本的なマナー（あいさつや約束の時間に遅れないことなど）や学生自身が主体的に動いていくことが重要になってきます。

一方、自分のアイディアが現場に直接活かされていくことで得られる嬉しさ、現場の職員からの助言を受けながら伸びていくみなさんの成長など、得られるものが大きい1年間になると思います。共に学びながら地域に貢献していきましょう。